

相談



どうやって相談したらいいの?

電話、来訪、メールなどお気軽にご相談ください。
ご依頼があれば、ご自宅等への訪問もいたします。



どんなことをしてくれるの?

専門の相談員が、困りごとの解決方法を一緒に考えます。
また、困りごとが解決できるように関係機関と連携し、お手伝いします。



○お問合せ・相談先○

ふくし総合相談窓口
(鹿角市社会福祉協議会内)

〒018-5201
鹿角市花輪字下花輪86番地2

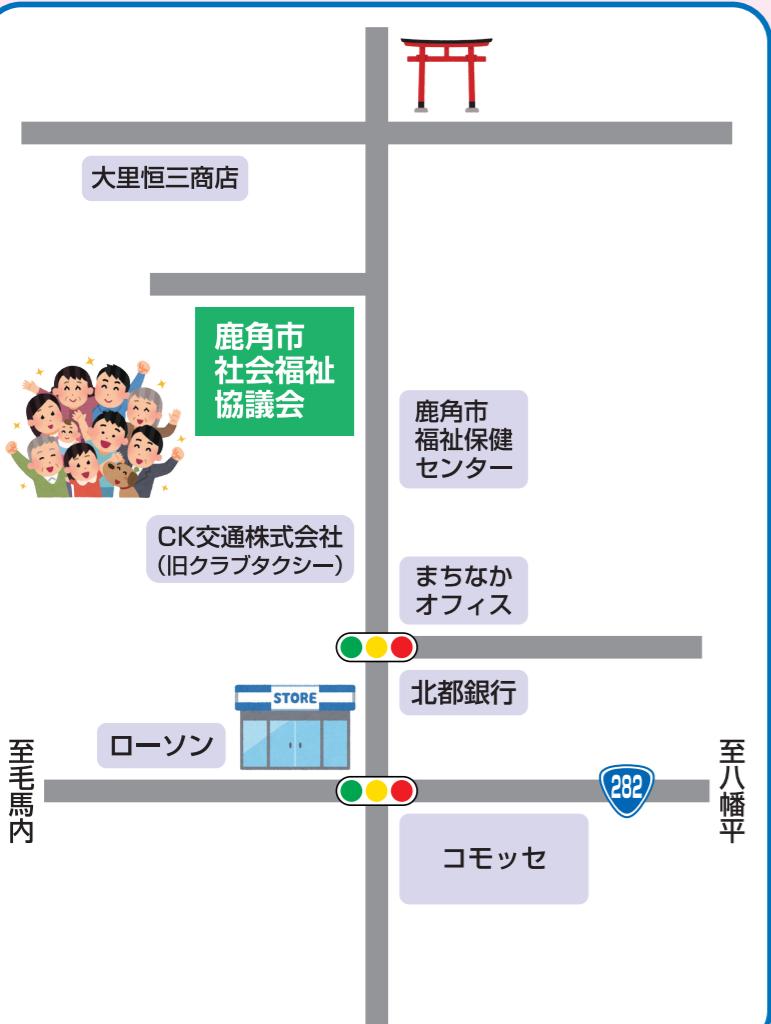
電話番号
0186-30-1555

FAX番号
0186-23-2850

メール
fukushinosoudan@ink.or.jp

○ご相談時間○

月曜日～金曜日(祝祭日を除く)
午前8時30分～午後5時15分



そう ごう そう だん まど ぐち

ふくし総合相談窓口

なや
お悩み なんでも そつ だん
ご相談ください!



相談したいことが
いっぱいあって、
まとまらない…



父親の介護と
育児もあって、
就労できない…

お金のことで頭
がいっぱい…。
他にも色々あるのに…



どこに相談
したらいいか
わからぬ…



相談は無料です。

ひとりで悩ますご相談ください!
自分のこと、ご近所のこと、心配
なことや困っていることなど、
なんでもご相談ください。

ふくし総合相談窓口(社会福祉法人 鹿角市社会福祉協議会)

〒018-5201 鹿角市花輪字下花輪86番地2

電話番号: 0186-30-1555 FAX番号: 0186-23-2850
メール: fukushinosoudan@ink.or.jp



社会生活のなかには、様々な支援制度とたくさんの窓口があります。何か困ったことがあつたときに「どこに相談したら良いのだろう…」と、思うことはありませんか？
私たちは、制度の枠におさまらない“困りごと”について、地域の中で安心して暮らしていくよう、他機関と連携し解決に向けて取り組んでいきます。



1つの相談支援機関等では対応できない複雑・多様化した課題

ふくし総合相談窓口

相談者等に対する支援
他機関と連携した支援
ネットワーク支援
社会資源の創出

こんな相談にも対応しています

【困りごとの例①】

母子家庭から病気と借金についてのSOS!!



母子家庭の母親が病気で倒れてしまい、職場復帰が難しい状況になる。
一人娘は高校を卒業し、今年の春から働きだしたばかり…。
母親名義の住宅ローンや教育ローンがあるが、娘の給料だけでは返済が困難である。
入院中の病院から市役所に連絡があり、その後、“ふくし総合相談窓口”へつながる。

ひとり親支援



【困りごとの例②】

高齢の母親に定期訪問する中で…

8050問題

脳梗塞を患い左半身麻痺の母親が、介護サービスを利用している。
母親がヘルパーに「10年くらい就労していない息子がいる」と打ち明ける。
話を聞くと、ここ5年は地域の行事にも参加しなくなったという。
母親の年金だけで生活しており、これから的生活に不安もあるとのこと。
ヘルパーから相談を受けた担当のケアマネジャーから、“ふくし総合相談窓口”へつながる。



たい 対
おう 応
れい 例

保健師と生活困窮支援担当者(※1)が
自宅を訪問。

息子から「アルバイトから始めてみたい」との声が聞かれ、ハローワークに同行。一緒にアルバイト先を検討し、採用となる。「いずれは、前のように働きに出たい」と意欲も出ており、一緒に目標を立てながら、継続的に支援している。

※1、生活困窮支援担当者とは、経済的な困りごとを抱える世帯の支援を行っている相談員のことを指しています。